

総括・方針をもとに交流進む 第50回越教組定期大会

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
16.05.31(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

五月十四日(土)、第五〇回越教組定期大会が開かれました。大会には来賓として四団体から出席、ともに越谷市の教育を発展させようとする立場から、道徳の教科化、エアコン・トイレの設置・改善、教職員の健康面に触れた挨拶をいただきました。また市長をはじめ三団体から期待する旨のメッセージが寄せられました。討論も職場の状況を報告しあう中で深まり、元気の出る大会になりました。

ハラスメント対峙

総括・方針

ハラスメントがなくならない。せっかく作った「防止要綱」が活用されていない。同要綱の周知徹底と相談員の選任、公表を求めていく。

発言

・ハラスメントまがいのことが横行する学年で、悩んでいました。組合に間に入ってもらう。組合に解決した。

(「ハラスメント防止要綱」を知っていたかとの質問に)

・存在も知らなかったし、学校のどの先生が相談員なのかも知らなかった。



職場の管理強まる

総括・方針

管理職の管理強化、非民主的な学校運営に反対する。

発言

・テスト・プリント類を持って帰るのに許可がない。

参加者の発言から

・校舎の窓が少ししか開かなくなった。暑いし、虫も追い出せない。自分のカメラを使えない。ここにきて規制が強まっている。

・職員会議の折に、教頭から「校長先生のご指示です。」とか「校長先生がご考えをお持ちですのでもず何ってみます。」という言葉が頻繁にある。

私たちに何の話もなく、大事なことが学校だよりに掲載される。

・今の職場は若い人に管理職になるように導いてる体制になっているが、若い人は必ずしもそう思っていない。やっぱり良い教育をしたいと思ってる。そこを考えると活動したいと思う。

・教員のスポーツウェアの着こなしについてまで管理の手が伸びようとしている。

総括・方針

二〇一七年度実施予定の勤務時間把握について正確な把握をすること、現場の負担にならないことを求める。多忙化の削減改善に取り組む。

勤務時間と健康

・校長交渉をした。前年とは違って前向きな回答をしている。

・仕事が忙しく、水分補給もトイレにも行けない日がある。

・再任用でクラス担任をしている。一日二時間くらい学校にいる。それでも持ち帰り仕事が増えた。

・小中一貫教育の取り組みの一つであるJプランにも、授業交流にもいろいろ弊害がでてきている。交流をするにしても日程が過密になり過ぎている。

・管理職の中にも出勤退勤時間を把握しながら健康管理をしようと呼びかける人

が増えた。自らの勤務時間を明示したり、疲労は脳にも心臓にも負担をもたらすと警告したりしている。



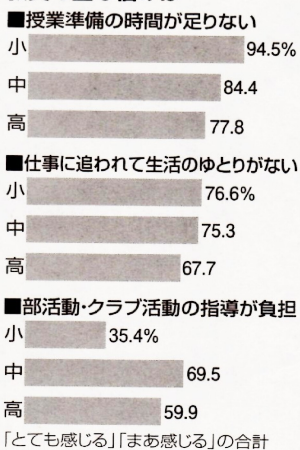
写真は、退職者への花束贈呈と退職者挨拶



「教師悲鳴 忙しすぎる」より

毎回の記事紹介で申し訳ないのですが、五月十二日の朝日新聞に、北海道教育大学・愛知教育大学・東京学芸大学・大阪教育大学の共同調査の結果が大きく報じられていたので紹介します。この調査は昨年八〜九月に全国の公立小中高の九七二〇人を対象に実施。回答率五五％にあたる五三三三人の回答をまとめたものです。教員の仕事は楽しい 小：八六％ 中：八二％ 高：八一％との回答は別に、左上のような悩みが浮き彫りになりました。下段は取り組んでほしい政策です。少人数学級実現はほぼ満票。一方免許更新制度には期待する教員は少なく、小八五％中：八一％ 高：八五％が反対でした。

教員の主な悩みは



主な教育改革に賛成する教員の割合

